

2012年 8月のアンガージュマンの予定

利用は会員となり、フリースペース、キックオフプロジェクト、相談・コーディネート、学習サポート等をお選び下さい。まずは電話などでお問い合わせ下さい。見学も大歓迎！

月(Mon)	火(Tue)	水(Wed)	木(Thu)	金(Fri)	土(Sat)	日(Sun)
夏休みのお知らせ あばうと・ネクスト 8/11~19 キックオフ 8/12~15	1 12:00 昼食会(300円) 14:00 キックオフ・ビジネス講座 学習サポート	2 学習サポート	3 学習サポート	4 ※	5 ※	6 14:00 スマートーク&はるかぜ講座 学習サポート
7 学習サポート	8 12:00 昼食会(300円) 学習サポート	9 学習サポート	10 11:30 出荷作業体験(長井) 14:00 映像ワークショップ 学習サポート	11 ※	12 ※	山形物産市(はるかぜ書店前) 14:00~16:00 保護者会
13 ※	14 ※	15 ※	16 ※	17 ※	18 ※	19 ※
20 14:00 スマートーク&はるかぜ講座 学習サポート	21 学習サポート	22 12:00 昼食会(300円) 14:00 キックオフ・ビジネス講座 学習サポート	23 学習サポート	24 11:30 出荷作業体験(長井) 学習サポート	25 ※	26 ※
27 14:00 はるかぜ講座 学習サポート	28 学習サポート	29 12:00 昼食会(300円) 学習サポート	30 学習サポート	31 学習サポート	バーベキュー@野島公園	

バーベキューのお知らせ

8月26日(日)14:30~17:00 野島公園バーベキュー場

【参加費】大人:1,000円 子ども:500円 【申込】046-801-7881 イシイまで。

子ども・若者・保護者・支援者 その他、アンガージュマンに興味がある方なら、どなたでも参加できます。

今月のボランティア募集

イベント	日付	定員	主な活動内容
フリースペース	土日祝日除く	5名	話やゲームの相手、ともに過ごす
物産市	8/11	3名	物品販売、品物陳列、チラシ配布
農産物宅配	8/29~31	3名	検品、仕分け、梱包、配達
昼食会	8/1, 8, 22, 29	3名	調理、盛りつけの補助
夜のフリースペース	8/3, 17, 24, 31	5名	ともに過ごす
通信発送作業	8/31	5名	通信の折り、封入、封止め
下校時の防犯	平日		
	14:40~16:00	2名	町内の巡回、見守り

参加希望の方はご連絡下さい。046-801-7881 担当 石川隆博

通信 メールでの送付について

次号より経費削減の為、現在通信を郵送している方のうち、メールアドレスの分かる方には添付ファイルとして送付致します。郵送ご希望の場合は、ご連絡下さい。

現在の発送費用は以下の通りです。

用紙・印刷代	送料	合計
40.2円	78円	118.2円/通
20,100円	39,000円	59,100円/月

どれだけの経費削減につながるかは、次号にてご報告できればと思います。ご理解のほど、お願いいたします。

物品募集

ご家庭に眠っているものがあれば、ご寄付ください。会員の皆様へのお知らせ等に利用させていただきます。

未使用切手
未使用葉書
(書き損じのものでも構いません)
レターセット
ポストカード
一筆箋

2012年(平成24年)

8月1日 発行

Le Engagement

NPO法人アンガージュマン・よこすか

発行所：〒238-0017神奈川県横須賀市上町2-4 電話：046-801-7881

http://engagement.angelicsmile.com/ 発行責任者：島田徳隆 編集責任者：石井利衣子

http://blog.canpan.info/engagement/(ブログ) engagement@angelicsmile.com(メール)

第102号

灯ろうまつり、幽玄の二日間。

今年は二日間開催

7月13, 14日の二日間にかけて灯ろうまつりが開かれました。今年で8回目を迎えます。すっかり地元で根付いた催しになりました。

思えば、第1回目の時から、盛り上がり誰にも文句を言われず、むしろ大歓迎されながらいつかは1日だけでなく、何日かにわたって開催出来たらいいね、と亡くなった上町商盛会の前理事長と話していたことが思い出されます。いよいよ今年それが実現し、二日間にわたって開催することが出来、感慨無量です。

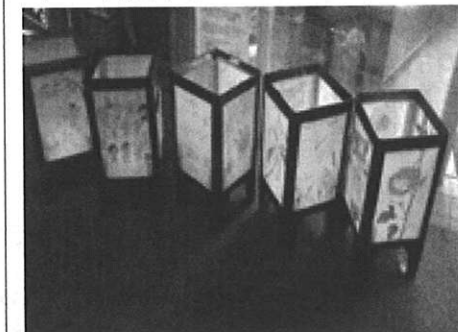


アンガージュマンから地域へ

また、今回は春に文化会館の上の中央公園を中心に開催された桜まつりの時に結成された上町イベント実行委員会が仕切りました。

これまではアンガージュマンが中心になってイベントを行っていましたが、地元の若手店主が中心になり、また商店街の枠組みを超えた集まりになりました。これは間接的であるにせ

よアンガージュマンがつなぎ役として活動してきたことも理由の一つであるといえましょう。本来、私たちが商店街活動を中心的に担うということは不自然であると考えます。多くの店主が問題意識を持って参加することが自然な形です。これからはきっと参加する店主が増えることでしょう。さらに言えば次世代の担い手が増えてくることこそ理想的です。理想に近づくべく微力を尽くします。



うわまちらしく

今回の催しは二日間になったこともあり、人出はちょっとバラけた感じもします。しかしながら、お店の人たちをはじめ、地元の人たちが一緒に楽しんで、と外部の複数の方に言って頂きました。昔から上町に存在したものではないにも関わらず、地域に根付いたことは非常に嬉しくもあり、自信になります。催し全体の雰囲気も「うわまちっぽく」しっとりとした上品なものです。今年例年以上に浴衣美人が多かったようにも見えます。



アンガージュマンでは?

アンガージュマンではお店の前でソーセージとビールを販売しました。研修生よりもあばうとの子どもの方が一生懸命販売していたのでは!?

子どもたちは皆浴衣に着替え(研修生はそのまの格好だけ)、街の各所で行われたイベントのお手伝いをしました。例年通り、2か所の商店街事務所で花火を配ったり、アイス配りのお手伝いをしたり。スタッフも総出で商店街のお手伝いをしました。

アンガージュマンには会員の皆様がお手伝いに来て下さいました。みなさんのお手伝いがなかったら、きっとアンガージュマンの販売は成り立たなかったことでしょう。この場を借りて深く御礼申し上げます。

理事長と事務局長のどちらかが来客対応する予定でしたが、結局あちこちに出払ってしまい、せっかく訪れて下さったお客様にご挨拶もままならず、大変失礼いたしました。

(理事長 島田徳隆)

キックオフ 研修生を見かけたら…&さくらんぼまつり

若者はキックオフ研修によっていろいろ体験をします。本屋だけではありません。月に一度の物産市・宅配（リエゾン）。声がかかれれば町内会の電燈交換・ご近所の駐車場で除草作業・アンガージュマンの施設管理etc…。つまり、はるかぜ書店にたずさわりながら、色々なところで生活にかかわる色々な事（ただし危険なことは除いて）を体験しています。街のどこかで見かけたら、声をかけてやって下さい！！ 現在5名の若者達が夏の暑さの中、汗を流しています。そして、一緒に研修する仲間がくるといいなあと言っています。（萩原恵子）

7月2日(月)に毎年恒例の山形物産市番外編「さくらんぼまつり」を開催しました。今年は果樹農園「青い空」の国重さんより、粒が大きく佐藤錦にも負けない甘さの「天香錦」と、さわやかな酸味の楽しめる「紅秀峰」が届きました。島田・石井を先頭に、キックオフの若者達が販売しました。さくらんぼのいい香につられて足を止めるお客様もいました。正午を過ぎて西日も強くなると、商店街の方から、こちら側の方がいいわよ！ と声をかけて頂き、反対側の歩道に移動したりという一幕もありました。例年と同じ150パックを仕入れて、完売。山形物産市のベテラン(!?)島田と石井と一緒にやることで学び取ったものを次回の販売時に役立てられれば良いですね。（石川藍）

あばうと ボランティア募集のため、大学に！

あばうとは、少し夏バテモード。7月に入り梅雨明けと共に暑さも全開。入れ代わり立ち代わり体調を崩しがちでした。7月の初めには、2つの大学へボランティア募集にAちゃんとNちゃんがそれぞれ行きました。AちゃんもNちゃんも大学生や他団体の方などと自ら積極的に交流していました。普段ボランティアに来ていただく方ではない人達との交流や大学という空間は、あばうとはまた違った刺激があり楽しかったようです。流行のトランプゲーム（大富豪）の勝敗表も7月の半ばには埋まりひと段落、連日30℃を超える暑さの中でも「どっかいこう」「どこか行きたい」という声が……。8月は涼しい場所を探してお散歩かな。（ボランティア 鈴木篤志）

ネクスト できたよ!の笑顔とともに。

初めてアンガージュマンに来たのは7年前、大学1年生の夏だったと思います。中学時代の担任の先生から、『彩さんにすごく合っていると思うよ。やってみない?』と薦められ、以来、子どもたちの隣に座って、その学習と成長を見守ってきました。スタッフのみなさんの家族の様な温かい雰囲気の中で、いろいろな人が関わる場だからできる学びを、ネクストに関わっている子どもたちと共に、私自身もさせてもらっています。

ネクストでの学習は、既存のカリキュラムに子どもを当てはめるのではなく、一人ひとりの子どもに合った内容、今その子に必要な内容を学習の目標にしています。『この学年だから、これは分かっているだろう、できるだろう』を前提とせず、その子が勉強に対して抱えている不安を、一つずつ和らげていくことや、少しでもその子の自信につながるような言葉かけを心がけています。子どもたちの『解けたよ!』『できたよ!』の笑顔、これからも大切にしていきたいと思っています。（ネクスト講師 森本彩）

昼食会 暑い時こそ食事が大事。

「暑いですねー!」の季節になりました。子供の頃は喜んだものです……。が、やはり暑いと食べる気持ちもdown気味。でも、食べる事がおっくうになる前に、いつでもしっかり食べ物を受け付ける胃を保っておくことが大切ですよ。とりあえず何とかして「おいしい」が私の通年のテーマです（時々無理があるけど…）。たくさん品物を使う。たっぷり食べられる。料理方法にはあまりとらわれない。手をぬくところはぬく・こだわるところはこだわる。そして、デザートはとっても重要。皆さんも、楽しく作って楽しく食べましょうね。（萩原恵子）

相談・カウンセリング 相談・アウトリーチのすすめ II

昨年のごことです。スタッフに「タキタは、利用者には優しいがスタッフには厳しい」と苦言を呈されたことがあった(参った!)。親御さんの相談に向き合っていると「甘く育てたからひきこもってしまった。もっと厳しく育てればよかった。私の育て方が悪かった」との言葉に直面することも多い。ひきこもる当事者も「自分が怠けていたからいけない。もっと意欲的に生きれたら」と自嘲的な発言にであう。優しい&厳しい”甘く&厳しく”怠ける&意欲的に”というステレオタイプ的な表現に、返す言葉を失う。どんなに抗っても現状の社会から解き放たれることは難しい。だからこそ社会背景を問う時、社会的矯正力に苦しむ子ども若者と親の存在を実感する。現状の自分を否定し、彼岸の自己実現を願う無意識の社会的矯正力に苦闘する姿である。抽象的な言い方だが、自分を世界の中心に置き社会参加を具体化することである。社会ありき、社会に適応する自分づくりではない。自己発見と自己肯定こそが自分を解放する。法人の相談・カウンセリングのスタンスは、彼女彼らの性格を治したりマインドコントロールするのではない。社会参加に至る、自分の再発見と自己肯定である。答えはあなたの中にある、スタッフは寄り添い育む関係の存在だ。アウトリーチ(訪問)を重ねた人たちが、法人へ足を向ける日が近づいています。相談・アウトリーチの線が、フリースペース等で面の関係へと。7月20日現在 相談アウトリーチ15組25人。申込は、法人(046-801-7881)及び担当者(滝田 090-7212-4055)まで。（滝田衛）

ボランティア 必要とされるボランティアとは

今回は、ボランティアニーズについてです。ボランティアに参加する側と受け入れる側にはニーズの違いがあることがよく知られ、そこに生じているギャップをどう埋めるかは課題とされてきています。県指定NPO法人制度では、無償ボランティア活動の実績なども要件とされるため、受け入れる側は自らの活動のどの部分をボランティア活動にできるか再考することが求められます。また参加者には、事前に希望を聞き、受け入れの可能性を探り、納得感をもって参加いただき、受け入れ後も近況を確認するなどしていくことが大切だと思います。ボランティアは社会の支持と共感を得られる先駆的な自由とも言われます。ボランティアのもつ力を活動のなかで最大限いかしていくことが、共働になると思います。（石川隆博）

ブログ 更新してます!

皆さん、アンガージュマンの公式ブログ「アンガージュマンしようぜい!」はご覧頂いてますか? えへっ、あんまり更新してないじゃん…、というのは6月までの話。7月より、かなりの頻度で更新されているのです! ブログ開設以来の、月別更新回数も、最多です!! フリースペースのできごと、キックオフの仕事風景、イベント情報から毎日のおやつまで。そこで過ごしている人にとっては何気ない日常の一コマでも、そこから少しでも、アンガージュマンの雰囲気が伝わればいいなあ、と思って書いています。

アンガージュマンに興味のある人、これから行こうかなと思っている人、保護者の方、支援者の方、色々な人に、この場所ですぐ楽しさを知ってもらえれば…。卒業していった人にも、アンガージュマンは、相変わらずだよ、と手紙を出すような気持ちで。

なにか特別なことがあるわけではありません。でも、元気な日も、なんだかめんどくさいなあって日も、とりあえずここにいれば、誰かがいる。いつだって、自分の気持ちを大切にできる場所がある。そんなことを、小さくてもカタチにしておこうと思っています。（石井利衣子）

教育コラム 第1回 いじめと暴力に向き合う

僕が教員だった30年前、それは1978年ごろ。対教師・生徒間暴力が学校に吹き荒れていた。生徒のスタイル、男子は長ラン・ボン短で髪は剃りを入れパンチパーマ。女子は地面を掃かんばかりの超ロングスカートに聖子ちゃんカット。喫煙とシンナーと暴力と授業妨害・抜け出しに追われていた。それは一部の生徒、授業もしっかりやっていた。

放課後の大切な仕事、校内巡回。上司(変な言い方 学年主任や管理職を指す)の命令ではなく、極めて自発的であった。何故巡回するか? 面白いからだ。子どもの生の姿に出会える。必ず巡回する場所は、屋上へ向かう階段の踊り場とトイレと秘密の校舎裏。

ある日、トイレの個室から煙が上がっている。僕は隣の個室に入り、おもむろによじ登り、上から「おい、美味いか!」と声をかけると、「ヤベ!」。“逮捕”。ちなみにトイレ個室ドアの上の棧とタンクは灰皿代わり。

またある時、階段の踊り場で一人の女子生徒が5人に囲まれていた。土下座させられている。こんな時、「何やってる!(怒り)」と野暮な言い方はしない。その一言で子どもたちは演技に入る、示し合わせたように。僕は「遊んでるの?」と声をかける。副スケ番(?)女子が「この子さ、性格悪いんだ」と答える。「だから…」と僕が聞く。「性格を直してやってんだ、ヨ!」と女子が応える。スケ番(真中か一步下がっている)は答えない。おもむろにスケ番女子に「この子、どういう性格」と尋ねる。「約束破ったし、チャラチャラしてる」と返事。スケ番が答えれば落着。僕は女子軍団に一目置かれた。「分かった、この子あずかるよ。俺が話すから」と、その子を連れだす。そして最後の一言、「お前らが人の性格直すの無理だ。俺も自分の性格なんて直せないから。これはいじめだ! 明日呼ぶからおいで」。基本はこれ。まずは状況把握、次にいじめられている子の救出、最後にいじめている側への注意と叱責。ちなみに”逮捕”はチクったのではないので、被害者に報復はない。教師も一目置かれるのだ、スケ番グループに。（滝田衛）

朗読劇 「ハッピーバースデー」横須賀公演 決定! (別紙参照)

来る11月10日に朗読劇ハッピーバースデーが横須賀市文化会館で開かれます。主催者の神奈川子ども未来ファンドは、県内の子どもたちや若者たちを支援しているNPO等に対して活動資金を助成する団体です。アンガージュマンでは、はるかぜ書店での読み聞かせ講座に対して助成を頂いたことがあります。助成を頂くだけの関係ではなく、その後は私、島田が運営委員として運営に微力ながら携わっております。

この朗読劇は年に一回、県内の各地で開かれてきましたが、児童虐待をテーマとして親子の関係に焦点を当てたベストセラー小説をもとにした、大変感動的な作品です。

ここ横須賀は子どもたちにとって極めて厳しい環境に置かれています。ぜひ、横須賀で公演を行いたい、とずっと働きかけてきた経緯があり、ようやく実現に至りました。子どもを持つ親だけでなく、多くの人に観て頂きたいという思いがあります。

絶対に後悔はさせません。皆さんお誘いあわせの上、お出かけ下さい! (島田徳隆)